議会だより

白山市

第33号
2013
平成25年8月

「思い出をありがとう　最後のプール」

撮影地：明光小学校（井ノ口町）
新プールは平成27年３月完成予定です

特集「この人」

人づくりは社会総がかりで!!

…… 14

髙橋敏男さん（前市教育委員会委員長）

目　次

平成25年６月定例会概要 …… 2
常任委員会レポート…… 4
議会報告会を開催…… 6
一般質問…… 7
市民の声…… 16

6月定例会概要

平成25年第2回市議会定例会
6月6日（木）～24日（月）

県内市議会初の通年議会へ

「白山市議会基本条例の一部を改正する条例」ほか2件を全会一致で可決

～新たな取り組み「通年議会」～

○定例会を年1回とし会期は毎年3月から2月までの1年間とする（ただし今年度は9月から2月まで）

○休会中であっても議長の権限で会議を再開できる
・災害等の突発的事件や緊急性のある課題に素早く対応

◆議会のチェック機能のさらなる**充実・強化**

◆**主導的**かつ**機能的**に活動

今定例会に市長より提出された補正予算案2件、条例案12件、事件処分案14件、専決処分の承認10件について、全て可決または承認し、追加上程された人事案2件についても同意または答申しました。また、請願1件は不採択、議員提出の議会議案6件については、全て可決しました。

◎主な議案等

○補正予算案

一般会計については、11億8626万円の増額補正が提案されました。

特別会計については、湊財産区特別会計において、消融雪整備事業にかかる一般会計への繰出金1000万円が計上されました。

主なものは次のとおりです。

法人保育園（6カ所）施設整備費補助金
5億7544万円

緊急雇用創出事業
4943万円

社会資本整備総合交付金事業
道路関連事業
3億5258万円

松南小学校解体事業
1億3240万円

整備予定のあさひ保育園

○条例案

地酒で乾杯

白山市白山菊酒等の普及の促進に関する条例

本市の伝統産品である白山菊酒等の普及促進を目指す。

白山菊酒

白山駅実現に向けて

北陸新幹線白山駅整備基金条例

寄付者の意向に沿って、北陸新幹線白山駅の実現に向けた活動や白山駅の整備負担金に充当するための基金創設。

市長等の給与の特例に関する条例
白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

市長等及び一般職の職員の給与の減額について、今年度に限る措置としての改正。

○事件処分案

ようやく決定 今後の運営に期待

指定管理者の指定

白山セミナーハウス望岳苑の指定管理者となる団体の名称及び指定の期間

指定管理者：株式会社セオリー
指定の期間：平成25年7月1日から平成30年3月31日まで

優良企業の進出を後押し

財産の取得

山島地区新工業団地土地区画整理事業の土地購入

土地面積：1万7447㎡
取得金額：2億5069万5943円

建設工事等の請負契約

明光小学校建設工事ほか6件

合併後 無城小学校、美川中学校などに続く7校目の新築

明光小学校建設工事（建築工事）
契約金額　18億3750万円

私は　賛成・反対しました

○＝賛成、×＝反対 ◎会派名 市民＝（新）市民の声 一創＝一創会 白政＝白政会		北陸新幹線白山駅整備基金条例について	白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	白山市における工場立地の促進に関する条例の一部を改正する条例について	年金2・5％削減中止を求める請願書
氏　名	会派名				
横山　隆也	白政	○	○	○	×
山口　俊哉	市民	○	○	○	×
安実　隆直	白政	○	○	○	×
吉本　史宏	白政	○	○	○	×
永井　徹史	白政	○	○	○	×
石地　宜一	一創	○	○	○	×
小川　義昭	白政	○	○	○	×
安田　竹司	白政	○	○	○	×
北嶋　章光	市民	○	○	○	×
宮中　郁恵		○	○	○	×
村本　一則	白政	○	○	○	×
宮岸　美苗		×	×	×	○
寺越　和洋	白政	○	○	○	×
吉田　郁夫	市民	○	○	○	×
竹田　伸弘	市民	○	○	○	×
清水　芳文		○	○	○	×
前多　喜良	白政	○	○	○	×
藤田　政樹	一創	○	○	○	×
西川　寿夫	一創	○	○	○	×
中西　恵造	一創	○	○	○	×

＊賛成反対が分かれたもの
＊議長（岡本克行）は採択に加わりません。

◎請願

昨年11月の国会で法案が成立したが、今年10月からの実施を中止してほしいという内容の「年金2・5％削減中止を求める請願書」が出され、採決の結果、賛成少数で不採択となる。

◎人事案

・監査委員の選任
北田　幸光さん（大竹町）
・人権擁護委員の推薦
桐　冨美代さん（向島町）

国の関係機関へ提出

【意見書】

○TPP交渉に関する意見書
（提出者・安田竹司）
TPPが国民生活の根本にかかわる重大な問題であることを踏まえ、我が国としての揺ぎない交渉方針を確立するよう強く求める。

○地方財政の充実・強化を求める意見書
（提出者・竹田伸弘）
平成26年度の地方財政計画、地方交付税総額の拡大に向けた対策を実施するよう強く求める。

○手話言語法制定を求める意見書
（提出者・藤田政樹）
自由に手話が使える社会環境の整備などを盛り込んだ手話言語法を早期に制定するよう強く求める。

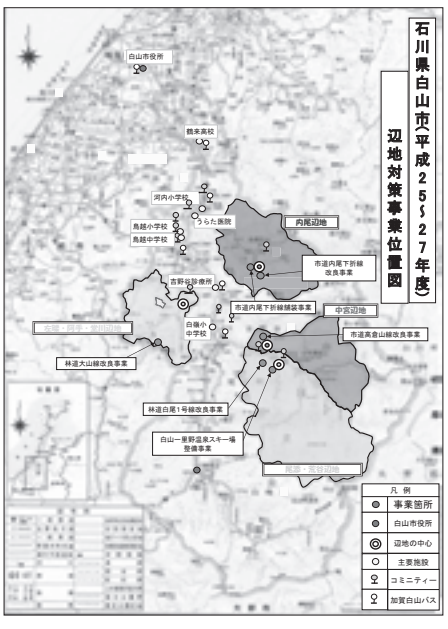
総務企画常任委員会

辺地に係る総合整備計画を継続策定

質問　辺地債、過疎債を合併特例債と一律の扱いとして市民に周知しているが、性質が違うという認識を持つべきでは。

答え　辺地債、過疎債は辺地地域、過疎地域に限られた特定の財源である。平野部では別の補助金や起債が充当されるため、表現の仕方は十分注意したい。

※**辺地債**
河内、吉野谷、鳥越、尾口地域で辺地に指定された区域に発行が認められる有利な地方債
※**過疎債**
吉野谷、鳥越、白峰地域に発行が認められる有利な地方債
※**合併特例債**
合併した自治体に限り発行が認められる有利な地方債



辺地対策事業位置図

平成25年度一般会計補正予算

質問　緊急雇用対策に関する県補助金は、どのような流れで決定されるのか。
また、鳥獣被害に関連した市特有の事業を県に提案してほしい。

答え　県から市に対して事業の要望調査があり、その後県へ申請する。県の事業費の枠内であれば採択される。
市特有の事業については、これまでの実態調査を踏まえて検討していく。

その他報告事項

空き家対策

質問　空き家対策に関する条例を、今後、制定する予定はあるのか。
また、空き家による周辺住民への被害について、市はどこまで関わっているのか。

答え　取り扱いについて厳密な法整備ができていない。条例化についてはしばらく様子を見て、今後検討していく。
現地調査を繰り返し、文書で改善するよう促している。その後、現地確認、追跡調査をし、粘り強く交渉を続けていく。

文教福祉常任委員会

公民館整備は地元と十分な協議が必要

公民館大規模改修等事業

質問 林公民館の多目的ホール建設については、敷地が固まってから実施設計を行ったほうがよいのではないか。

答え 隣接する用地についての結論は出ていないが、現在、公民館前にある駐車場敷地内での建設が可能と考えている。実施設計に当たっては、地元と十分に協議しながら進めていく。

質問 既存施設の耐震化に取り組むことも必要だが、一方で施設を持たない地区に公民館を新設することも必要だ。市はどちらを優先して計画を立てるのか。

答え 平成27年度末までに、未耐震施設である鶴来・鳥越・尾口の3公民館を整備したい。28年度以降、財源が確保できれば、新設や大規模改修を順次整備していく。

意見 各公民館の整備に当たっては、地元と十分に協議しながら進める必要がある。

白山セミナーハウス望岳苑の指定管理者の指定について

質問 冬期間、望岳苑付近は降雪のため、立ち入ることができない。1年を通して営業する場合、除雪が必要となるが、指定管理者は理解しているのか。

答え 指定管理者となる株式会社セオリーは、今年の冬に様子を見た上で、来年度からの稼働を考えると言っている。手前にクロスカントリースキー場があり、望岳苑前までつながる市道は、市が定期的に除雪しているため、指定管理者は落下した屋根雪の除雪を行うことで営業が可能となる。緊急時の対応については、これから協議する中で検討していく。

意見 営業中の雪崩発生など、自然災害発生時の対応について、市と指定管理者で事前に確認しておく必要がある。

平成25年7月1日から指定管理による運営がスタートした「白山セミナーハウス望岳苑」

産業建設常任委員会

万全の体制で白山・白川郷ウルトラマラソンを

質問 9月29日に開催される大会では、ボランティアを何人想定しているのか。

答え スタートが午前4時、ゴール閉鎖時間が午後8時とかなりの長時間となるため、700から800人を想定している。

意見 全国的にマラソンの愛好者が増え、マラソン大会も増えているが、一方で完走者や協力者が減り、大会を取りやめている自治体もあると聞く。ぜひ大会が成功するよう期待している。

緊急雇用創出事業

質問 北陸新幹線金沢開業を見据え、観光事業の内容で1年限りということだが、事業事体は今後どうなるのか。

答え 1年後の事業展開については、業務委託先の事業者等で判断していただくことになる。

質問 今回の事業は、追加措置ということだが、来年度以降も実施されるのか。

答え 緊急雇用創出事業は、平成20年度から実施しており、当初3年間の限定であったが、現在も継続している。国から県に補助金が交付され、県が基金として財産形成をしており、その基金がまだ残っているため、追加で事業を実施している。

質問 基金が無くなった場合でも、県に事業を継続するよう要望していくのか。

答え 県もいろいろな雇用対策を行っているため、緊急雇用創出事業は限定したものになると考えている。

質問 町内の橋梁や道路などの危険箇所の点検に利用できないのか。

答え 橋梁の点検は、専門知識を持った方でないと困難であるが、今後、検討していきたい。

白山市と岐阜県白川村を結ぶ「白山スーパー林道」がコースとなるウルトラマラソン

～ みなさんの地域へおじゃまします ～

議会報告会を開催

今年度より議員がみなさんの地域に出向き、議会改革の取り組みなどを市民のみなさんに報告します。

どなたでもお気軽に参加することができます。多数のご参加をお待ちいたしております。（※事前の申し込みは必要ありません）

平成25年度

第１回目　日時：８月９日（金）午後７時30分から
　　会場：美川コミュニティプラザふれ愛ホール
　　（JR美川駅構内）
第２回目　時期：10月中旬　　開催地域：白山ろく
第３回目　時期：１月中旬　　開催地域：鶴来
第４回目　時期：１月中旬　　開催地域：松任

※詳細は、随時市ホームページ等でお知らせします。

特別委員会の組織

６月定例会において、議会だより編集委員会が廃止となり、新たに広報広聴委員会を設置し、委員が選任されました。

広報広聴委員会

【委員長】
藤田　政樹
【副委員長】
宮岸　美苗
【委員】
山口　俊哉　　永井　徹史
石地　宜一　　小川　義昭
寺越　和洋　　吉田　郁夫

広報広聴委員がみなさんの地域へ取材に伺います。

９月会議の日程

平成 25 年第３回定例会９月会議の日程は次のとおりです。

９月　５日（木）本会議（提案説明）
９月 12 日（木）本会議（一般質問）
９月 13 日（金）本会議（一般質問）
９月 17 日（火）本会議（一般質問予備日）
９月 18 日（水）常任委員会
９月 19 日（木）常任委員会
９月 25 日（水）本会議（表決）

全国市議会議長会・北信越市議会議長会表彰

地方自治に長年貢献された３議員ならびに３前議員に、全国市議会議長会と北信越市議会議長会から表彰状が贈られ、６月６日の本会議の前に岡本克行議長から伝達されました。

また、前多喜良前議長には全国市議会議長会より感謝状が贈られました。

在職15年以上表彰
宮岸　美苗　　岡本　克行
中西　恵造　　杉本　典昭（前議員）
石田　正昭（前議員）
小島　文治（前議員）

「そこがききたい」

一般質問 市政を問う

6月定例会の一般質問は、13日、14日の2日間にわたり行われました。

13日の質問議員

永井 徹史 議員 …… 7ページ
小川 義昭 議員 …… 8ページ
石地 宜一 議員 …… 8ページ
清水 芳文 議員 …… 9ページ
横山 隆也 議員 …… 9ページ
北嶋 章光 議員 …… 10ページ
寺越 和洋 議員 …… 10ページ

14日の質問議員

宮中 郁恵 議員 …… 11ページ
安実 隆直 議員 …… 11ページ
中西 恵造 議員 …… 12ページ
宮岸 美苗 議員 …… 12ページ
吉本 史宏 議員 …… 13ページ
山口 俊哉 議員 …… 13ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。

永井 徹史 議員

Q 白山ろくに特化した機能で行政センター整備を

A 吉野工芸の里周辺で機能を特化して整備を検討

施設運営委託方法の転換

質問 指定管理者の公募において、行政の委託方法の考え方を転換したことで、指定管理料は要らないとの会社が現われた。地元の存続要望施設、休止施設等にも当てはめられないのか。

市長 指定管理において公募対象施設を拡大し、民間提案を増やすことを前向きに検討したい。

支所統廃合の進め方

質問 政府の地方制度調査会は、支所を設置・運営している市町村への地方交付税の配分拡充を検討している。これは本市の支所統廃合を進める根底を変える。この答申案をどう受け止めるのか。

桶屋副市長 合併特例措置の終了は、本市には手厳しい措置である。今回の答申案は、窮状を理解しての提言であれば歓迎し、大いに期待するものである。

白山ろく行政センター

質問 支所廃止後の市民サービスセンターは、「よろず相談」、福祉の「一声訪問」等の安心安全の機能を担わすべき。

白山ろく行政センターは、「吉野工芸の里」周辺に設置し、白山ろくに特化した機能を担わすべき。

桶屋副市長 市民サービスセンターはそのとおり期待に応えていきたい。

白山ろく行政センターは、白山ろくに特化した観光、防災、除雪等の道路維持・補修を白山消防署の移転改築を見据え、既存施設を利活用しながら、対応していきたい。

白山ろくの皆さんが納得いくよう懸命に努力したい。

ふれあい一声訪問活動

小川 義昭 議員

Q 県内初の「文化芸術振興条例」の制定を求める

A 「条例」の制定は有効であり前向きに取り組む

文化芸術振興条例の制定

質問 文化芸術の振興が産業・観光振興につながり、心豊かで活力あふれるまちづくりを目指した「文化芸術振興条例」の制定を。

教育長 ここ数年の間で、文化事業・ジオパーク推進事業・観光事業との連携が活発化している。文化と産業などが共存する創造的なまちづくりを目指し、前向きに取り組み、平成26年3月ごろの制定を目指す。

一大イベントとして期待される「白山・手取川・日本海 わがまちの民俗芸能まつり」

「文化課」を市長部局へ

質問 教育委員会所管の「文化課」を「文化振興課」と改め、市長部局に移管し、文化振興・産業振興・観光振興を併せ持つ組織体制としては。

市長 平成19年4月の法律改正により、文化財保護を除く文化に関することについては、市長の管理執行が可能となった。文化行政は観光行政とも密接な関係があるので前向きに考えたい。

「スマートシティ」構想

質問 安心して住み続けることのできるまちづくりを進めるためにも、「再生可能エネルギーの地産地消」「自分たちで消費するエネルギーは自分たちで創り出し、賢く使うまち エネルギー自立都市」を目指し、「白山スマートシティ」の構築に向けた、基本的な方向性や将来像を策定しては。

市長 新たに追加したエネルギー施策、環境施策は、結構導入されている。まち自体を変えるには、新しくつくるときに、新しい考え方によってまちづくりをするのが一番手っ取り早い。新たな区画整理事業で、そのような取り組みの機運が出てきている。行政も一緒になって考えていきたい。

石地 宜一 議員

Q 空き家の管理に関する条例を

A 条例化については慎重に検討したい

空き家等の適正管理

質問 高齢化や遠隔地での居住、あるいは経済的事情などの理由により、適正に管理されていない空き家が増えている。安全で安心な住みよいまちづくりのために「空き家条例」を提言する。

市長 空き家は所有者の私有財産であり、近隣に迷惑な状態でも第三者が勝手に解体や撤去などの処分ができず、所有者の管理責任に委ねられている。条例化については慎重を期して法整備を働きかけ検討したい。

市内の空き家対策が待たれる

防災行政無線と音声告知放送の連携を

質問 この4月にJアラートが稼動し防災行政無線が鳴ったが、聞こえた所と聞こえない所があった。周知徹底には屋外から防災行政無線、屋内からは音声告知放送により連携一体型で情報伝達すべき。

市長 テレビ、ラジオを初め白山市のメール配信サービスや気象庁の緊急地震速報、また災害避難情報を市内にいる方の携帯電話に強制配信する緊急速報メールなど、災害情報をいち早く伝達することが最善と考えている。

市民生活部長 子局をおおむね400mの範囲内で設置しており、聞こえにくい部分は地元と調整し、ラッパの向きを変えさせていただきたい。

大気汚染

質問 ことし1月に微粒子状物質PM2・5の大規模な大気汚染が発生したが、これまでの観測値の推移は。松任石川環境クリーンセンター隣接地域におけるばい煙やダイオキシン濃度の測定値は。また、近隣地区への報告は。

市民生活部長 PM2・5に関して環境基準値を超える日は平成23年度は3日、24年度は4日である。クリーンセンターの測定結果は国の基準をクリアしており、宮保地区同様、笠間地区にも報告したい。

清水 芳文 議員

Q 「ふれあいサロン事業」のさらなる拡充を

A 各地区1カ所以上の実施に向け積極的に取り組む

質問 地域に住む高齢者に喜びと生きがいを感じてもらえるよう、「ふれあいサロン事業」の拡充を。

健康福祉部長 議員提案のように内容を見直し、市内全域で各地区1カ所以上の実施に向け積極的に取り組む。

ふれあい通学合宿の拡大を

質問 美川地域の3小学校校区で取り組んでいる「ふれあい通学合宿」を全市に拡大を。

教育長 学校を通じて地域やPTAに紹介したい。

たらいに洗濯板、俺も私も頑張るぞ

川北大橋無料化に関連して

質問 ①無料化後の交通量は。②産業道路沿いに「道の駅」類似施設の設置を。

建設部長 ①無料化の効果が表れ2倍近く増加した。②設置ができないか研究したい。

北陸新幹線列車名を「白山」にする運動を

質問 JRが公募中の新幹線列車名を「白山」にする運動を開始しては。

市長 列車名が「白山」になれば知名度が上がる。市民の関心の高まりを期待したい。

桜街道の設置を

質問 手取川流域に全長50kmの桜街道の設置を再度提案する。

建設部長 今年度は、白山ろくと松任運動公園内に桜の植樹を行う。これらの名勝地をつなぐことで桜街道となる。

白山菊酒等普及促進条例制定後の取り組みは

質問 ①市は何をするのか。②他市での取り組みや、具体的な取り組みは。③お酒で乾杯をする習慣のない市民への理解は。

市長 ①ポスターやシールで周知。②先進地の活動を参考にする。アサガオをデザインしたグラスでの女性向けPR活動などを支援したい。③白山菊酒という優れた地元の酒を知ってほしい。

ウルトラマラソンなどの開催を無事故・大成功に

質問 ①医療・救護体制は。②競技前日に、参加選手向けの救命講習会を開催し、参加選手には、宿泊費の補助を。

観光推進部長 ①看護師がAEDを携帯し、安全観察車8台に同乗する。②前日の選手説明会で救命の心構えをレクチャーする。宿泊費補助は考えていない。

横山 隆也 議員

Q 白山ろく地域の危機感・不安をどう感じているのか

A 不安解消に資する温かみのある施策を講じていきたい

選挙結果

質問 今回の市議会議員選挙の結果は、白山ろく地域の危機感・不安の表れでは。

市長 安心して暮らしていけるよう、ふれあい一声訪問など不安解消に資する温かみのある施策を講じていきたい。

澤副市長 白山ろく地域出身者なので、住み良さ、厳しさをよく知っている。積極的に意見を述べ、不安解消につなげたい。

転居・転出時にアンケート調査の実施を

質問 定住促進策を検討するため、市内の異動も含め転居・転出時にアンケート調査の実施を。

企画財政部長 窓口での待ち時間が増えるなどの懸念があるため難しい。平成27年度中に再度市民へのアンケート調査を実施する。

税申告時期の対応は

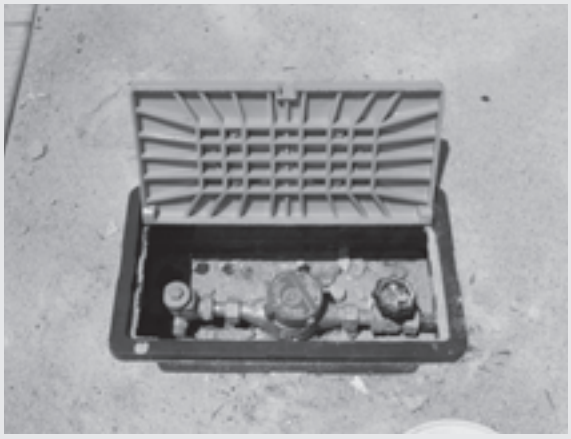
質問 組織機構の見直しに伴う、美川と白山ろく地域での所得税と住民税の申告時期の受付の対応は。

企画財政部長 利便性が大きく低下することがないよう配慮する。職員数を増員し、美川支所では10日間、白山ろく地域は期間中どこかの支所で受付ができる体制としたい。

水道料金の減免を

質問 漏水が故意ではない場合には、減免率を上げることを検討されては。

上下水道部長 対象期間を現行の2カ月から4カ月に延長する。前年同月の使用水量の2倍以上の基準を廃止したい。



水道メーター

北嶋 章光 議員

Q 学童保育施設の整備は

A 必要に応じて検討していきたい

質問 極めて狭いスペースしか確保されていないクラブについて、専用施設を整備する計画はあるのか。

市長 児童の良好な環境が阻害されるような状況がある場合は、その機能が十分確保されるための施設整備も必要と考えている。

質問 今後の学童保育施設の整備計画について、どのように考えているのか。

市長 学童保育の需要増加への対応を初め、施設の老朽度などを勘案し、必要に応じて検討していきたい。

良好な環境整備が求められている児童館

公民館施設の整備

質問 60万円の補正予算でどのような調査を行うのか。

教育長 施設整備を検討するための基礎調査を実施したい。標準的な整備モデルを作成し、新・増改築、一定規模以上の修繕について年次計画を策定し、中期計画の見直しに反映させたい。

質問 身近な要望にもっと十分な予算を配分すべきではないか。

教育長 予算編成時期に各公民館への調査を行い、順次計画的に小修繕を含む予算を確保している。

質問 今回の調査では、各地区の区長会や各公民館の要望をくみ取ってもらいたい。

教育長 公民館の整備に当たっては、これまでも公民館長から聞き取りを行い、計画的な整備について取り組んでいる。

寺越 和洋 議員

Q AED設置マップの配布を

A 来年3月までに防災マップに明示し全世帯に配布

質問 AED設置の公共施設や企業の場所が一目で分かるような地図を、町内会長・防災士・消防団等に配布しては。

市長 来年3月までに発行する防災マップに設置場所も明示し全世帯に配布する。

質問 各企業にAED設置を。

市長 商工会議所等を通じてお願いする。

認可地縁団体の推進は

質問 町内会が地縁団体を設立するメリットとデメリットは。また、市内の地縁団体数は。そして、地縁団体が資産を所有しなければならないものは何か。

総務部長 メリットは相続時の問題の解消。デメリットは町内会長が代わると届け出が必要となる。市内384町内会のうち、松任（36町内会）美川（1町内会）鶴来（8町内会）白山ろく（17町内会）である。そして、資産とは、土地・集会施設等・広場・共有林等である。

今後、地縁団体が管理する集会所

集会所等の使用制限は

質問 市は、町内の集会所を無償譲渡しているが、施設設置条例により、譲渡されても使用できないケースがあるのでは。

総務部長 市からの利用に対する制限は、一切設けていない。

ラウンハイム市とボストン町訪問の目的は

質問 訪問の目的と意気込みは。

市長 ラウンハイム市では、世界ジオパークの取り組みを視察。ボストン町では、ホームステイ交流事業の引き続きのお願いをしたい。また、市政運営の意見交換と本市の魅力をPRしたい。

質問 海外交流の意義は。

市長 青少年が中高校生の時期に異国の文化に触れることは、国際社会に適応した人づくりに重要である。

宮中 郁恵 議員

Q 40歳からの節目で眼科検診に取り組めないか

A 特定年齢を対象に前向きに検討したい

質問 40代以降は目にさまざまな病気が出やすく、気づいた時にはかなり進行している。目黒区は、40歳から5歳間隔で65歳まで、節目に受診券を郵送し、問診、眼圧測定、眼底検査、細隙燈顕微鏡での視神経の障害、病変を観察し、緑内障と加齢黄斑変性の疑いを検査している。市でも取り組めないか。

市長 どのような検査内容にするか、結果の判定基準について医師会と調整するなど検討課題がある。

ユニバーサルデザイン（UD）に配慮した中央福祉館の建設を

質問 UDとは年齢、性別や身体の状況、特性等に関わらずできる限り多くの人々が利用しやすいよう配慮された設計であり、カラーUDは、色弱の方など視覚の多様性に配慮した色の使い方をするものづくりである。福祉の拠点にふさわしい誰にも優しい建物にしては。

高齢者や障がい者の方たちによるモニターツアーを行い、利用者の視点に立った整備を進める

市長 エレベーターは内部の様子が分かるスケルトン仕様、音声案内はセンサー方式を取り入れる。色彩計画は明度差をつけ識別しやすく、緊急告知用の電光掲示板の設置、余裕のある駐車場の区画、歩行者用通路の確保など、安全対策に万全を期す。

（仮称）中央福祉館

閉じこもり防止の居場所づくりと総合的サポートの整備を

質問 行き場のない方たちが気軽に立ち寄れるサロン的な居場所として、相談などの総合的サポート対応ができる居場所を、中央福祉館の中に整備しては。

健康福祉部長 喫茶を兼ねた談話コーナーを設ける。ボランティアセンターや、福祉全般のワンストップ相談窓口として、福祉総合相談センターを開設する。

安実 隆直 議員

Q 北陸新幹線開業白山ブランドPR戦略の策定状況は

A 「加賀藩と霊峰白山」をテーマに金沢市と観光連携

質問 本市への誘客を図る新幹線開業白山ブランドPR戦略の策定状況は。白山スーパー林道の名称変更と無料化を検討しては。

市長 金沢市長と「加賀藩と霊峰白山」という共通テーマで合意し、広域観光連携の協議を進めたい。スーパー林道の名称変更は岐阜県、石川県の両県に一任し、料金の引き下げも両県へ要望していく。

小水力発電の普及・推進

質問 本市最大の資源である水を利用した小水力発電を普及、推進し、電力供給都市を目指しては。

市民生活部長 産学官共同で小水力発電を含めた再生可能エネルギーの調査研究を支援したい。

農業用水を有効利用した七ヶ用水発電所

農業振興策

質問 担い手育成や認定農業者等の独自支援と6次産業化を推進し、力強い産業にするための「農業戦略」が必要では。

産業部長 石川農業青年会議やJA部会などの活動を支援しており、6次産業化も推進していく。また、地域水田農業ビジョンを本市の農業戦略として関係団体が一体となり、協議、調整をしていく。

地産地消

質問 学校給食での地元食材の導入効果と農林水産物ブランド化の推進体制は。また、農産物を販売する「道の駅」整備方針と利活用、運営は。

産業部長 今年度新たに6月を白山の恵みを食べる月間とした。平成20年度との重量比では約5倍に伸びている。ブランド化による高付加価値が進み、販売額が増額している。

建設部長 国道8号沿線で検討している道の駅には、農産品等の物販施設の整備が不可欠と考えており、整備検討協議会で検討していきたい。

中西 恵造 議員

Q ジオ認定に向け魅力あるまちづくりを

A 世界にもまれな水の旅がキーワード

質問 世界ジオパーク認定を目指す本市にとって、日本のシンボル、桜咲く美しい里づくりもその一つだ。松任地域には「城」と名のつく町内会はあるが、歴史的建造物はあまり見受けられない。強いて言えば、おかりや公園が松任城址公園に名称変更した程度だ。サンマリノ共和国のマンリオ・カデロ駐日大使はクリスチャンの方だが、日本の神社は美しく心が穏やかになると絶賛している。「日本の心の美」をいかに世界に見せていくのか。日本の美、白山市の美しさをどのような形で効果的・機能的に見せていくのか。

ジオパーク推進室長 白山手取川ジオパークでは、世界にもまれな「水の旅」をキーワードに白山市の美を効果的に見せていき、先祖から預かったこの地がどんなに大切なものかをよく理解し、子孫に残していく活動と考える。

ボランティアへの支援策を

質問 緑化の推進・桜の名勝整備事業に熱い思いを込めた活動が、末永く続いていく支援策はあるか。

市長 市の支援策として、苗木の購入には緑の募金事業や宝くじ桜寄贈事業を活用し、維持管理については施肥・除草・消毒等の原材料支給や用具の貸し出しなど、白山「みち」と「川」の美化パートナー制度により支援したい。

建設部長 美化パートナー制度は、公共空間、道路、河川、公園などで、その清掃、美化活動に行政が支援する制度で、作業を行う一週間前までに活動申込書を提出していただきたい。

雨かぜに　負けんと育て　桜堤

手取川第2大橋構想

質問 県の助言を入れた事業が、手取川第2大橋構想である。高速鉄道網や高速道路網を補完する幹線道路網の整備は欠かせない。進捗状況と今後の展望は。

市長 本市も第2美川大橋の早期事業化を願っている。

宮岸 美苗 議員

Q 美川駅ホームにエレベーターの設置を

A 美川駅は国庫補助の対象とならず大変厳しい

企画財政部長 JRに対し、市内の駅のバリアフリー化を要望してきているが、乗降客1日3000人以上でないと国庫補助対象にならないという要件がある。美川駅は1600人余であることから厳しい実態にある。

ホームへの高い階段がひと苦労の美川駅

公契約条例の制定を

質問 公契約条例とは、公共工事に従事する労働者の賃金や労働条件を適正に定め、確実に末端の労働者にまでいきわたることを義務付ける制度であり、そのことが事業の質の確保や豊かな地域社会の実現につながる。本市で条例の制定を。

総務部長 賃金や労働条件は法律で規定するとの憲法の下で、最低賃金法が定められている。公契約条例は、法律を超えたものを定めてはいけないとした地方自治法に違反する疑いもあり、現段階では条例制定は考えていない。

図書館の窓口業務

質問 ①窓口業務の外部委託検討について聞きたい。②図書館は市直営で運営すべきと考えるが。

教育部長 ①職員を専門性の高い分野に専念させるため、専門性を要しない窓口業務を外部委託できないか検討している。利用者ニーズを把握し進めていきたい。窓口業務に実績があり、図書館に精通した業者を考えている。利用者ニーズを踏まえ、満足度の高い図書館づくりに努めることで、サービス水準を維持確保したい。②利用者に喜んでもらえる図書館づくりを第一に考えている。業務委託はそのための方策として検討している。限られた予算の中で最善の手法を検討することは行政の責務だと考えている。

吉本 史宏 議員

Q 青少年の育成について市長の考えは

A 健全でたくましく成長することを願っている

青少年の健全育成

質問 市青少年問題協議会の組織とこれまでの取り組みは。

教育長 学識経験者等9名で組織し健全育成の講演や意見交換、方策について審議している。

質問 今後の青少年問題協議会の方向性は。

教育長 子どもの権利委員会で同等の内容が審議されているので、一定の役目を終えたと考えている。

新たな道の駅

質問 白山を仰ぎ見ることができる場所に立地すべきでは。

市長 白山眺望の良好な場所に立地したい。

質問 市民の交流拠点としての施設に。

市長 地域の連携を図る施設として、協議会で検討する。

質問 道の駅整備検討協議会の組織は。

建設部長 交通・観光・地産地消・地域振興・防災等の団体で構成し協議する。

通学路の安全対策

質問 整備要望の危険箇所と対応状況は。

教育長 小中学校合わせて104カ所、内71カ所が対応済みで、今年度中に23カ所、残り10カ所は来年度以降、早期の整備に努める。

北陸新幹線金沢開業と白山市合併10周年

質問 合併から満10年を迎える時期の周年事業は。

総務部長 北陸新幹線開業や車両基地オープンに合わせ本市のPRを計画しており、合併10周年記念事業は一体感の醸成を目指す上で意義があり、相乗効果が期待できる事業を検討する。

グリーンベルトが施された通学路

山口 俊哉 議員

Q NPO法人の活動に対しての見解、期待は

A 感謝と敬意 市の活性化のため大いに期待する

質問 市総合計画ではボランティアグループ、NPO法人の支援のために、情報ネットワークを構築し、活動機会などの情報提供に努めるとなっているが、現状は。

澤副市長 特定分野に限ればできているが、全体的なネットワークの構築については今後の課題であり、他の先進的な事例も参考にしながら研究する。

質問 全体的なネットワークを作るためにも、市民協働課など市民活動、NPO法人専任の部署及び活動支援センターの設置を。

澤副市長 係の設置や専任職員の配置は、他の自治体の例を参考に研究する。活動支援センター設置については、現在建設中の中央福祉館に設置する予定のボランティアセンターを拠点に、これまで以上に連携交流できる仕組み作りをしていく。

市民活動の拠点「小松市の活動支援センター」

(仮称)白山市立野球場の建設

質問 昨年度の調査報告書から縮小した理由と利用見込みは。

建設部長 相木野球場の代替え施設、市民の誰もが使いやすい球場として計画を変更した。軟式野球では、100日・約3600人、硬式野球では90日・4700人、ソフトボールでは10日・700人など、年間約9000人の利用を見込んでいる。

奨学金制度の新設を

質問 高等学校等へ進学する際の、市独自の奨学金制度の新設を。

教育部長 今のところ考えていないが、社会経済情勢を含め、今後も実態の把握に努めるとともに、奨学金の勉強もしていきたい。

特集

「この人」

人づくりは社会総がかりで!!

髙橋　敏男さん（前市教育委員会委員長）

髙橋敏男さん

髙橋敏男さんは、平成5年10月1日から平成25年3月29日までの19年6カ月間、旧鶴来町、白山市の教育委員会委員を務めてこられました。

今回、当時を振り返り、多くの思い出やエピソードなど、また市議会への熱い思いを語っていただきました。

○長きにわたり教育委員を務められ、これまでに印象に残った出来事は何ですか。

旧鶴来町出身で幕末に活躍した加賀藩士「小川幸三」の生誕地問題が浮上し、歴史家とともに平成9年3月に発刊された鶴来町史（近代編）編纂に取り組んだことです。

また、2学期制だった市内小中学校においては、平成22年4月から3学期制になったことが印象に残っています。学期制については幾度となく激論を交わしました。

○市における教育の課題は何だと思いますか。

合併当初の市内小中学校学力レベルは、県内ではあまり良いほうではありませんでした。

しかし、現在では、中上位の位置にあり大変喜ばしいことだと思っています。

学校では子どもたちの人づくりに徹してほしい

学力維持のためにも、特に小学校における基礎教育の定着と向上はもちろん、教師の英語指導の研修と実践が重要だと思います。

○教育委員長として、やり残したことはありますか。今後、教育委員の方々に何を期待しますか。

教育に対する思いには際限がありません。今年3月末で退任したことは良い区切りとして捉えています。

教育委員としては、バランスのとれた人間性と人間力が備わっていることが求められ、特に行政や議会に考えを進言する力を持つことが必要となってくると思います。

○現在進められている教育改革について、どのように思いますか。

現在の教育委員長、教育長の組織権限が守られ、真に生かされていくことが望ましいと思います。

しかし、教育委員長職が空洞化するようであれば教育長に一元化することも一つの方法と考えます。

ただその場合、偏った方向に進み修正力がなくなるという事態が生じることがないように望みます。

○髙橋さんの教育の原点は何ですか。また髙橋さんにおける教育とは何ですか。

活動の原点と言えばＰＴＡ会長を3校で5年間務めたことですが、教育に対する原点は国際社会に通用する人間づくりであり、その練磨です。そのためには、強い改革心と発想力で実行し、また、失敗したら撤退するという勇気を持つことも大事です。

学校教育は人づくりの原点であり、人づくりは社会総がかりで取り組むものと思っています。生涯学習であれ、文化、体育全てが教育の一環という認識を持っています。

学校、家庭、地域がそれぞれ正常に力強く機能していれば人は育つものと思っています。

○学校教育と社会教育のあり方を考えるとき、今後、どのような組織が望ましいと思いますか。また、社会教育は今後、どのようになっていくことを望みますか。

通常事業の場合は、現在、将来ともに現状の体制でよいと思います。

しかしながら、急に全国レベルの大会や大事業に直面したとき、また、他の部局との連携を必要とする事業等を抱えた場合は、市長部局がよいのではないかと考えます。

○市議会一般質問での思い出は何かありますか。

合併当初の市内小学校の学力について、学校訪問の際、全教職員に対してかなり厳しい話をして回りました。

このことを幾度か取り上げられ、人とモノを一緒にしているのではないかという一般質問もあり、「学校は子どもたちの人づくりに命がけで徹してほしい、民間社会はモノづくりに命がけで汗を流す」と答弁しました。

議会に対し一言

○今後、市議会に何を期待しますか。また議会広報・広聴の今後のあり方や手法について、何か希望や御意見はありますか。

議場においては各議員の個性を出し、自由闊達に自分の思いを執行部にぶつけて議論され、それを市民にアピールしたら良いのではないかと思います。

また、議会として地域懇談会などを開き、住民の生の声を聞くことも大切だと思います。

最後に、「市は『白山』の恩恵を受け、それを糧としながらも、一方では白山ろく地域の過疎化を容認しているようにさえ感じられます。学校においては、少人数ながらも地域愛を育むことも、適正規模で子どもたちを育てることも、どちらも大事で優劣はつけられません。白山ろく地域住民の危機感を感じ、住民にとどまって住んでもらえるような施策を期待します。」と白山ろく地域のまちづくりと学校統廃合の関係についてを話してくれました。

（聞き手　寺越和洋委員）

豊かな自然環境のもと地域愛を育む

市民の声

「市議会に期待すること」をテーマに
地域のみなさんからご意見をいただきました

市民が一体感を感じる白山市に

安江　清さん（湊町）

旧美川町は、9.12㎢の県内で2番目に小さな町でしたが、平成17年2月に1市2町5村が合併し、755.17㎢という県内最大の面積を有する市となりました。

合併協議の議論では、将来的には支所の統廃合を行っていくという方針が出され、現在、支所を縮小するなどして行財政基盤の健全化を図っていくと聞いています。しかし、これだけ大きな市域であるが、今後高齢化が進むこともあり、きめ細やかな対応を行ってほしいと思っています。

また、白山市は、海の幸から山の幸までとおいしい食べ物が多くあり、観光資源も豊富であるため、北陸新幹線金沢開業と合わせ多くの観光客が来てもらえるような市になってほしいと思っています。

市議会議員のみなさんには、市民が一体感を感じる白山市となるような施策を、市と共に進めていただきますよう願っています。

白山の恩恵「手取川扇状地」

朝日小学校創立50周年を迎えて

西田　貴子さん（鶴来本町三丁目）

今年度、朝日小学校のPTA会長をさせていただいています。

朝日小学校はことし創立50周年を迎えます。卒業生の中には、親子2代にわたり同じ校舎で学ばれた方もいることと思います。いろいろな思い出を胸に、記念式典を現在の校舎で行いました。

また、校舎の老朽化に伴い、2学期より新校舎へ移ることになります。子どもたちはピカピカの校舎で勉強や運動をすることをとても楽しみにしています。

地域の方々には、いつも子どもたちの様子を温かく見守っていただき、大変ありがたく思っています。引き続き見守りをよろしくお願いします。

市議会の方々には、これからも子どもたちが楽しく・安心して過ごせる環境づくりに努めていただくことを期待しています。

待望の新校舎

議会傍聴をお待ちしています

本会議当日
市役所7階で受け付けしていますので
お気軽にお越しください

- ●9月　5日（木）　10：00～　提案説明
- ●9月12日（木）　10：00～　一般質問
- ●9月13日（金）　10：00～　一般質問
- ●9月25日（水）　15：00～　表決

■広報広聴委員会
委員長：藤田 政樹　副委員長：宮岸 美苗
委　員：山口 俊哉、永井 徹史、石地 宜一、小川 義昭、寺越 和洋、吉田 郁夫

発行日／平成 25 年 8 月 1 日　発行／白山市議会　編集／広報広聴委員会　事務局／白山市議会事務局議事調査課
〒924-8688　石川県白山市倉光二丁目 1 番地　TEL：076(274)9580　FAX：076(274)8510
E-mail：gikai@city.hakusan.lg.jp　ホームページ：http://www.city.hakusan.ishikawa.jp